令和７年度先進健康科学研究科（一般入試・社会人特別入試）における出題意図等について
（医科学コース）

科目：小論文

１．出題意図

問１

本設問は、①現状認識、②本質分析、③解決策提案の三層構造で答案を求めることにより、科学力低下という社会課題に対し「自ら課題を発見し、科学的かつ創造的に解決を図る人材」であるかどうかを判定することを目的としている。本設問は、佐賀大学医学部アドミッションポリシーが掲げる「広い社会的視野」「科学的論理性」「主体的行動力」を総合的に測定する問いでもある。さらに、本学ビジョン 2030 のキーワードである「志」「挑戦」「地域と世界への貢献」と合致させ、受験生が Society 5.0 や SDGs 達成に向けた研究姿勢を示せるかどうかを評価する。

答案の前半で象徴的事象を批判的に論述させることで分析力とデータ活用力を、後半で最重要施策を絞り込ませることで論理的優先順位付け能力と実践的提案力を測定する。同時に、医学系修士課程志望者として医科学との関連付けが適切かを確認し、将来の医療イノベーション創出者としての適性を判断する。特に、倫理観を伴ったエビデンスベースの提案、多職種連携を見据えたチーム・コミュニケーションの視点が盛り込まれているかを重視する。これにより、本研究科が求める「医学と他分野を架橋し、地域から世界へ価値を発信できる修士人材」としての素養を多面的に評価できる。さらに、英語文献や国際指標を適切に引用している場合は、研究力とグローバルマインドを裏付ける要素として高評価となる。なお、文章構成の論理性と簡潔さも重要な評価指標である。

問２

医科学、医療にかかわる専門的な問題意識と専門性を確認する意図で主題を行った。今回は特に老年医学にかかわる理学療法による医学的知識と対処に関しての専門性を問うた。

問３

出題意図は、臨床経験を有する社会人が、疫学的知見と生活習慣改善の視点から心臓血管病（心疾患や脳卒中など）の予防について総合的に論じる力を測ることにあります。佐賀県では心疾患が死因第 2 位、脳血管疾患が第 5 位と主要死因を占めており、循環器疾患予防は地域の重要課題です。受験者には、疫学的エビデンスに基づき、高血圧や喫煙などの危険因子管理と食生活・運動習慣の改善による一次予防策を論理的かつ具体的に論述することが求められます。特に、健康意識の低い層への啓発や特定健診の受診率向上といった地域保健の視点も盛り込み、広い社会的視野で地域課題に言及することが期待されています。

また、佐賀大学が求める広い視野・科学的思考力・地域貢献志向と、ビジョン 2030 で強調される「志」「挑戦」の精神に沿い、地域医療への貢献意識を示すことも重視されます。構成は、冒頭で循環器疾患予防の重要性（疫学状況など）を述べ、中盤で危険因子対策や生活習慣改善策を展開し、結論で地域医療への貢献に言及する流れが望ましい。これにより、受験者の臨床経験に裏打ちされた課題発見・解決能力や公衆衛生的視点、そして佐賀大学が求める科学的探究心と社会貢献の姿勢を評価いたします。